



風っ子・環境キャンペーン



活動の中心になった環境委員会の児童たち。枯葉やごみが入った袋は、まだまだたくさんあります

前橋市

地域の人と清掃 歴史と環境を守る

前橋市立総社小学校

前橋市立総社小学校（総社町総社）周辺には多くの史跡や文化財が残っています。東側には、群馬県で最後に造られた大型方墳で国指定史跡の蛇穴山古墳に代表される古墳群、北側にも国史跡の宝塔山古墳や総社二子山古墳があり

ます。西側には天狗岩用水。新田の開発を目的に造られ、今でも流域の田畑に使われています。

このような地域の大切な歴史と環境を守る活動として長年続いているのが、天狗岩用水周辺の清掃です。全校児童だけでなく、保護者や地域の人が80人以上も参加。遊歩道にたくさんたまった落ち葉やごみを片付けます。

今年の活動日は10月31日。児童たちは竹ぼうきやちりとりを持って、遊歩道に向かいました。枯葉を片付け始めると、かくれていた飲み物の缶やたばこの空き箱など、今まで見えなかったごみも次々と顔を出し始めました。すべてごみ袋に入れて片付けると、軽トラック1台分にもなりませんでした。

その間、5年生は50個のプランターに150株のパンジーを植え、学校の美化に努めました。

環境美化委員会委員長の峰岸瑞葉さん（6年）は「みんなで協力できたのが良かった」



手分けをして効率よく清掃を進めます

「と、設楽大翔さん（5年）は「きれいになると気持ちがいい」とスッキリした表情を見せます。高橋心太さん（同）は「パンジーは、卒業式や入学式に飾られるので『きれいに咲いて』と思いつながら植えました」と笑顔を見せます。みんなの心の中にも美しい花が咲いているにちがいないと思います。

風っ子・環境キャンペーンを応援します

前橋市立総社小学校

橋爪浩子校長 835人
前橋市総社町総社1625番地
TEL:027-251-6662
創立/1873(明治6)年
http://menet.ed.jp/souja-es/

145周年をむかえる歴史ある学校。地域との結びつきが強く、年間12回開かれる寺子屋では、地域の人が昔遊びや読み聞かせをしてくれます。



900人以上で清掃。すげえなあ！

群馬県のマスコット「くまちゃん」許諾第29-110989号

身近にできるエコ活動

どこへ行くのか調べよう

使い終わったもの、壊れてしまったもの、いらなくなったもの。どこへ行くだらう？ ごみは燃やして終わりかな？ 水は流せば終わりかな？ そこから先はどうなるんだらう？ 地球の中ではすべてのものが形を変えてぐるぐる回っています。みんなの地球、考えてみよう！

群馬県環境アドバイザー 奈賀由香子